

BUSINESS REPORT

2011

第102期

株主通信

平成23年2月1日 ▶ 平成24年1月31日



株式会社 東京ドーム

CONTENTS

- 1 ▶ 株主の皆様へ
- 1 ▶ 当社グループの事業の概況
- 5 ▶ セグメント情報
- 6 ▶ 業績の推移
- 7 ▶ 連結財務諸表
- 9 ▶ 会社の概要
- 10 ▶ グループの主な営業所
- 11 ▶ 株主メモ
- 12 ▶ トピックス

株主の皆様へ

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当社第102期のご報告に先立ちまして、舞姫事故についてご報告申し上げます。

当社は、平成23年1月31日に「舞姫事故調査委員会」（委員長：代表取締役社長 久代信次）を設置し、同年1月30日に当社施設東京ドームシティ アトラクションズにて発生しましたお客様死亡事故に関する事実関係を調査し、事故原因の究明を図りました。その後、安全基準の策定、運行管理規定とオペレーションマニュアルの整備、施設面の整備および社内体制の構築等から成る総合的な安全対策の実施に全力で取り組んでまいりました。事故原因の究明と安全対策の確立まではアトラクションズ全体の営業を休止いたしました。同年4月28日に「スピニングコースター舞姫事故調査報告書」を公表し、安全対策の確立後、同年6月1日から一部の営業を再開いたしました。

当社は、亡くなられたお客様のご冥福をお祈りいたしますとともに、二度と痛ましい事故が発生することがないよう、また、株主の皆様をはじめ社会全体からの信頼を取り戻すため、新たに制定した「安全理念」および「安全基本方針」のもと、アトラクションズのみならずグループの全ての事業にわたり、安全の確保に向けた取り組みに万全を期してまいります。

さて、当社は平成24年1月31日をもちまして第102期（平成23年2月1日から平成24年1月31日まで）を終了いたしましたので、ここに株主通信をお届けし、当社グループの事業の概況をご報告申し上げます。株主の皆様におかれましては、よろしくご高覧のうえ当社グループに対しまして、より一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

当社グループの事業の概況 *記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

当連結会計年度におけるわが国経済は、東日本大震災の影響により経済活動や個人消費が落ち込みました。その後、持ち直しの動きが見られたものの、電力供給の制約、欧州の債務問題や円高の長期化などにより、景気の先行きに対する不透明感が強まりました。レジャーサービス業におきましては、デフレの影響による消費者の生活防衛意識は強く、また震災の影響による消費マインドの冷え込みもあり、依然として厳しい事業環境が続いております。

こうした環境のもと、当社グループは、平成23年2月から新しい中期経営計画「起動」に取り組んでおります。

主な取り組みといたしましては、東京ドームシティ（TDC）における開発投資として、平成23年8月に5機種のアトラクションを導入し、「パラシュートランド（現パラシュートゾーン）」をリニューアルオープンしました。

「パラシュートランド」の1階部には、都内最大級の広さを誇る屋内型キッズ施設「ASOBono！（アソボ〜ノ）」と、気軽に食事を楽しめるフードコート「GO-FUN（ゴファン）」も同時にオープンし、賑わいを見せております。既に集客効果および周辺施設への波及効果を発揮しておりますが、少子高齢化が進む中0歳児からの囲い込みを進め、中長期的なファン作りを行ってまいります。

また、新市場の開拓として、ビジネスイベント「MICE」への販売を強化し、新規案件を獲得しました。今後も、継続利用を視野に入れた営業活動を推進し、TDC各



ASOBono！（アソボ〜ノ）



GO-FUN（ゴファン）

施設の稼働率向上を図ってまいります。

さらに、東京ドームの多目的利用として、新たな自主興行「ワンピースドームツアー」と「東京リアル脱出ゲーム」を開催し、成功を収めました。震災に伴う電力不安と自粛ムードという逆風の中、企画力を発揮し、東京ドームの稼働率および収益性の向上に寄与しました。

当期の連結業績といたしましては、震災と原発事故に端を発した電力不足の影響を受け、東京ドームでの都市対抗野球が中止となり、また、TDC内の営業施設は休業あるいは営業時間を短縮いたしました。東京ドームシティ アトラクションズの舞姫事故による休園も大きく影響し、当社グループは全般にわたり苦戦を強いられました。

以上の結果、売上高は732億8百万円（前期比10.1%減）となり、営業利益は52億4千8百万円（前期比39.4%減）、経常利益は23億3千6百万円（前期比51.7%減）となりました。また、特別利益で舞姫事故および震災関連の受取保険金を計上しましたが、特別損失で舞姫事故による営業補償と震災関連の補修費用を計上したことなどにより、当期純利益は3億6千2百万円となりました。

当期の配当につきましては、財務状況等を勘案し、誠に遺憾ながら、見送りとさせていただきますようお願い申し上げます。

次に事業の種類別セグメント（セグメント間の内部売上高または振替高を含む）の概況をご報告申し上げます。なお、当連結会計年度から、事業実態をより適切に反映するため事業区分を変更しております。前連結会計年度との比較にあたっては、前連結会計年度分を変更後の区分に組み替えて表示しております。

東京ドームシティ事業

■東京ドーム

東京ドームは、新規の自主興行で観客を動員し、売上に貢献しましたが、震災と原発事故の影響を受け、プロ野球パ・リーグの公式戦の一部と都市対抗野球の東京ドームでの開催が中止となったことなどにより減収となりました。

■東京ドームシティ アトラクションズ

東京ドームシティ アトラクションズは、舞姫事故による休園と震災の影響により、大幅な減収となりました。

■東京ドームホテル

東京ドームホテルは、TDC内のイベントの中止や延期、震災と原発事故の影響による訪日外国人の減など、宿泊客数の減少および婚礼と一般宴会需要の減少により減収となりました。

■ラクーア

ラクーアは、TDC内のイベントの中止や延期、アトラクションズの休園により来場者が減少し減収となりました。

■ミーツポート

ミーツポートは、震災の影響により「東京ドームシティホール（旧JCBホール）」で開催予定だったイベントが中止や延期となり減収となりました。

以上の結果、東京ドームシティ事業全体での売上高は519億5千7百万円（前期比10.1%減）、営業利益は88億8千万円（前期比27.8%減）となりました。

流通事業

化粧品を中心に各種雑貨を取り扱う「ショップイン」は、新たに開店した2店舗による増収はありましたが、退店した1店舗と改装休業した7店舗、さらには震災の影響による関東圏店舗の休業および営業時間短縮の影響を受け、減収となりました。

以上の結果、売上高は75億1百万円（前期比7.6%減）、営業利益は5千8百万円（前期比72.7%減）となりました。



ショップイン

不動産事業

松戸公産株が、賃貸オフィスビル「代々木イースト」を取得したことにより増収となりました。

以上の結果、売上高は15億5千7百万円（前期比10.5%増）、営業利益は6億1千2百万円（前期比1.7%増）となりました。

熱海事業

熱海後楽園ホテルは、震災に伴う計画停電の影響によりキャンセルが多数発生したため、宿泊客数、稼働率ともに減少し、減収となりました。

以上の結果、売上高は36億6千2百万円（前期比19.7%減）、営業損失は2億6千6百万円（前期比3億7千6百万円の減益）となりました。

札幌事業

東京ドームホテル 札幌（旧 札幌後楽園ホテル）は、震災以降のキャンセルや延期により宿泊客数、稼働率ともに一時的に減少したものの、通年では婚礼の増による増収や、客室稼働率のアップにより、増収となりました。

以上の結果、売上高は25億8千4百万円（前期比1.5%増）、原価増により営業損失は1億7千2百万円（前期比3千3百万円の減益）となりました。

競輪事業

松戸競輪場は、運営受託収入の増加があったものの、前期に開催された日本選手権競輪が当期は無かったことや、震災の影響による休業があったためわずかに減収となりました。

以上の結果、売上高は24億6千2百万円（前期比0.1%減）、営業利益はコスト管理に努めたことにより3億6千5百万円（前期比196.7%増）となりました。

その他の事業

その他の事業全体の売上高は44億3百万円（前期比19.4%減）、営業利益は9千9百万円（前期比1億1千1百万円の増益）となりました。

対処すべき課題

当社グループは、平成23年2月から取り組んでおります中期経営計画「起動」において、

- ① 5年後〔平成28年1月期〕の連結営業利益100億円
（3年後〔平成26年1月期〕の連結営業利益90億円）
- ② 5年後〔平成28年1月期〕の連結有利子負債1,700億円
（3年後〔平成26年1月期〕の連結有利子負債1,850億円）
- ③ 配当性向30%を目途とする配当の実施ならびに自社株買入消却

を経営目標として掲げ、この経営目標の達成のため、「収益通減傾向からの脱却」を当社グループの最大の経営課題と認識し、これに将来の収益向上を勝ち得るための「新たな成長戦略の研究開発」と、それらを成し遂げるための「経営体質強化への取り組み」を加えた3つの経営課題を設定しております。

「起動」は、舞姫事故および震災と原発事故の影響によって、著しく困難な状況の中でのスタートとなりました。特に、アトラクションズにおいては、舞姫事故による4ヶ月にわたる全面休園により、収益力が一時的に大きく低下いたしました。しかしながら、その後は、グループを挙げて万全の安全対策を講じると同時に、平成24年3月には、「タワーランド」を、バイキング型アトラクション「スーパーバイキング ソラブネ」と、カート型アトラクション「フリフリグランプリ」を擁する「バイキングゾーン」と名称を変更して、リニューアルオープンいたしました。「パラシュートランド（現 パラシュートゾーン）」のリニューアルに続く新たなシンボルが誕生し、増収に期待を寄せております。また、現在営業を休止しているジェットコースター「サンダードルフィン」は、運行を開始するための準備を進めております。このアトラクションの営業再開により、新生東京ドームシティ アトラクションズが全面オープンとなる予定です。

震災以降の電力不足には、節電とレンタル発電機の導入により対応いたしました。平成25年1月期は常設発電機の導入を予定しており、これによりTDCにおける電力需要には安定供給を維持することが可能となる見込みです。

中期経営計画「起動」の初年度は、当社グループにとって逆風となる要素が数多く見られ、まさに激動の年でありましたが、平成25年1月期は営業環境の回復が期待できます。「起動」で掲げた課題を解決し、目標を達成するために、必要な施策をひとつひとつ実行し、残された期間でグループの企業価値向上を目指してまいります。

当社グループは、「お客様と『感動』を共有し、豊かな社会の実現に貢献する」という経営理念を実践すべく、エンタテインメント・不動産賃貸・店舗施設運営の事業ミックスで成長する企業グループとして、今後もグループの総力を結集して事業に邁進する所存であります。

株主の皆様におかれましては、何卒ご理解を賜りまして、より一層のご指導とお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

平成24年4月

代表取締役相談役

林 有厚

代表取締役社長

久代 信次

※平成24年4月26日に開催された第102回定時株主総会終了後の取締役会において、林 有厚は代表取締役相談役に就任いたしました。

セグメント情報 (平成24年1月31日現在) (事業の種類別セグメント)

東京ドームグループセグメント

(株)東京ドーム	連結子会社	持分法適用関連会社
東京ドームシティ		
東京ドーム 東京ドームホテル 東京ドームシティ アトラクションズ(遊園地) ラクア(スパ・フィットネス) 飲食店・売店	東京ドームホテル (株)東京ドームホテル スパ・フィットネス (株)東京ドームスポーツ その他 (株)東京ドームファシリティーズ 後楽園事業(株)	
流通		
ショッピング (化粧品・雑貨小売店)		
不動産		
賃貸等不動産の管理	賃貸等不動産の管理 後楽園不動産(株) 松戸公産(株) (株)後楽園フードサービス (株)水戸後楽園	
熱海		
熱海後楽園ホテル等	熱海後楽園ホテル等 (株)東京ドーム・リゾート オペレーションズ	
札幌		
東京ドームホテル 札幌	東京ドームホテル 札幌 (株)札幌後楽園ホテル	
競輪		
	松戸競輪場等 松戸公産(株)	花園園観光(株)
その他		
スポーツ施設運営受託等	スポーツ施設運営受託等 (株)東京ドームスポーツ 立体駐車場の設計・施工・ 運営管理 東和工建(株) 有価証券の保有・管理 オリンピア興業(株) その他 進商事(株) (株)後楽園ロコモティヴ	ビデオソフト制作・ 有線テレビジョン放送 東京ケーブルネットワーク(株) ゴルフ場 TERREY HILLS GOLF AND COUNTRY CLUB HOLDINGS LTD.

セグメント別売上高の推移

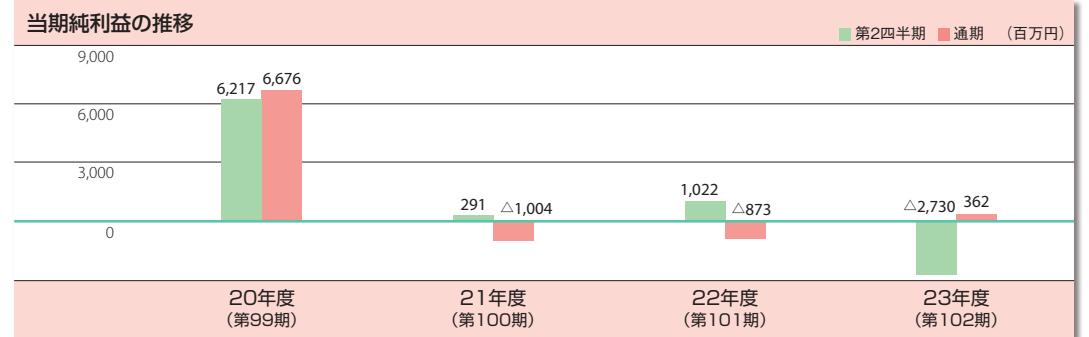
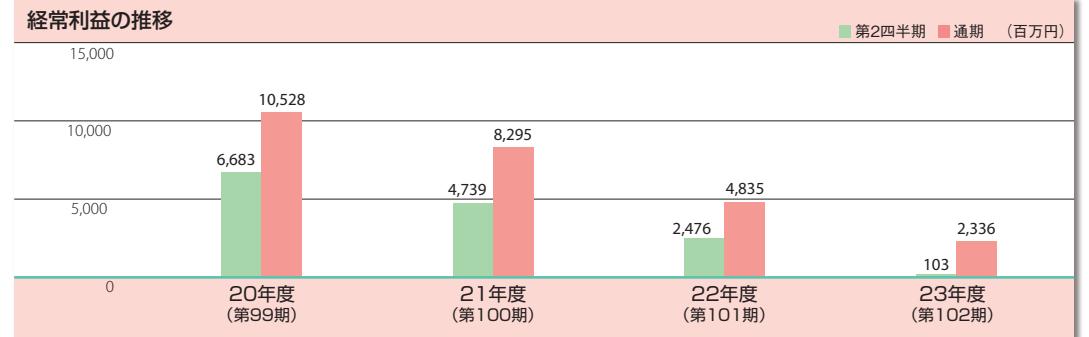
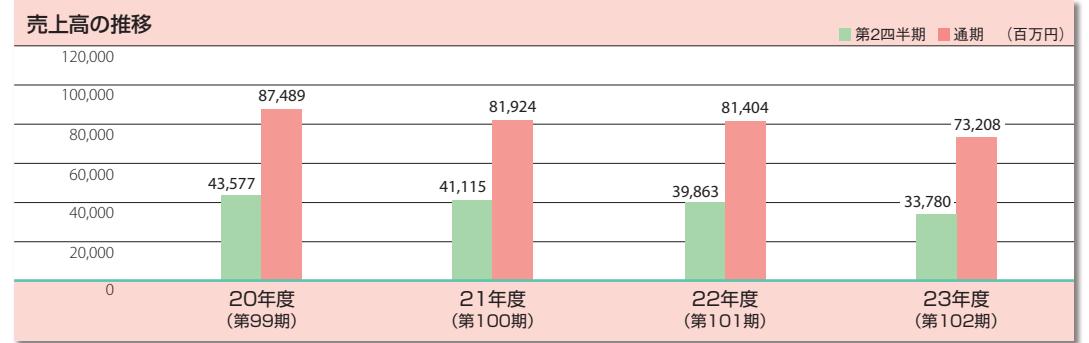
	平成23年度		平成22年度		比較	前期比
	金額	構成比	金額	構成比	増減	(%)
	(百万円)	(%)	(百万円)	(%)	(百万円)	(%)
東京ドームシティ	51,957	70.1	57,806	70.2	△ 5,848	△ 10.1
流通	7,501	10.1	8,114	9.9	△ 612	△ 7.6
不動産	1,557	2.1	1,409	1.7	148	10.5
熱海	3,662	5.0	4,561	5.5	△ 899	△ 19.7
札幌	2,584	3.5	2,546	3.1	38	1.5
競輪	2,462	3.3	2,465	3.0	△ 3	△ 0.1
その他	4,403	5.9	5,463	6.6	△ 1,059	△ 19.4
計	74,130	100.0	82,367	100.0	△ 8,237	△ 10.0
セグメント間の内部 売上高又は振替高	(921)		(962)		-	-
連結	73,208		81,404		△ 8,196	△ 10.1

セグメント別営業利益の推移

	平成23年度		平成22年度		比較	前期比
	金額	構成比	金額	構成比	増減	(%)
	(百万円)	(%)	(百万円)	(%)	(百万円)	(%)
東京ドームシティ	8,880	92.7	12,301	93.2	△ 3,421	△ 27.8
流通	58	0.6	215	1.6	△ 156	△ 72.7
不動産	612	6.4	601	4.6	10	1.7
熱海	△ 266	△ 2.8	110	0.8	△ 376	-
札幌	△ 172	△ 1.8	△ 138	△ 1.0	△ 33	-
競輪	365	3.8	123	0.9	242	196.7
その他	99	1.1	△ 11	△ 0.1	111	-
計	9,578	100.0	13,202	100.0	△ 3,623	△ 27.4
セグメント間の内部 売上高又は振替高	(4,329)		(4,538)		-	-
連結	5,248		8,663		△ 3,414	△ 39.4

業績の推移

連結



連結財務諸表

連結貸借対照表（概要）

単位：百万円

科目	第102期 (平成24年1月31日現在)	第101期 (平成23年1月31日現在)
資産の部		
流動資産	18,752	21,937
固定資産	277,553	279,646
有形固定資産	248,223	247,989
無形固定資産	842	768
投資その他の資産	28,487	30,888
繰延資産	1,543	1,280
資産合計	297,848	302,864
負債の部		
流動負債	80,558	76,242
固定負債	164,862	177,579
負債合計	245,421	253,821
純資産の部		
株主資本	2,762	2,390
その他の包括利益累計額	49,664	46,651
純資産合計	52,427	49,042
負債純資産合計	297,848	302,864

連結損益計算書（概要）

単位：百万円

科目	第102期 平成23年2月1日から平成24年1月31日まで	第101期 平成22年2月1日から平成23年1月31日まで
売上高	73,208	81,404
売上原価	62,016	66,425
売上総利益	11,191	14,979
一般管理費	5,943	6,315
営業利益	5,248	8,663
営業外収益	670	698
営業外費用	3,583	4,525
経常利益	2,336	4,835
特別利益	777	30
特別損失	2,201	2,217
税金等調整前当期純利益	912	2,648
法人税、住民税及び事業税	396	94
法人税等調整額	153	3,427
当期純利益または当期純損失（△）	362	△ 873

*記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結キャッシュ・フロー計算書（概要）

単位：百万円

科目	第102期 平成23年2月1日から平成24年1月31日まで	第101期 平成22年2月1日から平成23年1月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	8,497	14,818
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 8,466	△ 10,112
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 3,373	△ 4,519
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△ 3,342	186
現金及び現金同等物の期首残高	13,356	13,170
現金及び現金同等物の期末残高	10,014	13,356

連結株主資本等変動計算書

当連結会計年度（平成23年2月1日から平成24年1月31日まで）

単位：百万円

	株主資本					その他の包括利益累計額				少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	土地再評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計		
平成23年1月31日残高	2,038	856	17	△ 521	2,390	311	46,506	△ 166	46,651	—	49,042
当期変動額											
当期純利益			362		362						362
自己株式の取得				△ 5	△ 5						△ 5
自己株式の処分		△ 26		42	15						15
自己株式処分差損の振替		0	△ 0		—						—
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）						△ 1,355	4,366	2	3,013		3,013
当期変動額合計	—	△ 25	361	36	372	△ 1,355	4,366	2	3,013		3,385
平成24年1月31日残高	2,038	830	379	△ 485	2,762	△ 1,043	50,872	△ 163	49,664	—	52,427

*記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

会社の概要 (平成24年1月31日現在)

社名 株式会社東京ドーム
TOKYO DOME CORPORATION
設立 昭和11年12月25日
本社 〒112-8575
東京都文京区後楽1丁目3番61号
TEL 03-3811-2111 (代表)

従業員数 813名
資本金 2,038,451,007円
発行可能株式総数 396,000,000株
発行済株式の総数 190,821,854株 (自己株式892,986株を除く)

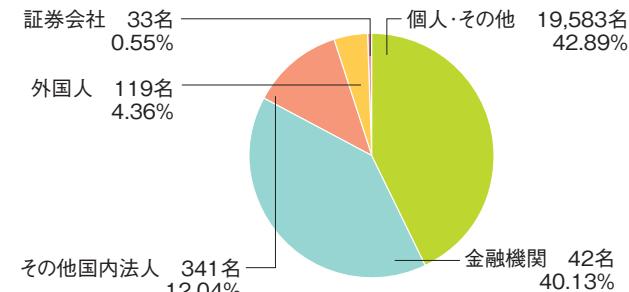
株主数 20,118名 (自己株式1名を除く)

大株主 (上位10名)

株主名	所有株式数 (千株)	持株比率 (%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	18,126	9.49
富国生命保険相互会社	8,553	4.48
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	7,253	3.80
株式会社みずほコーポレート銀行	6,753	3.53
株式会社竹中工務店	6,686	3.50
日本興亜損害保険株式会社	4,377	2.29
株式会社みずほ銀行	3,610	1.89
日本生命保険相互会社	3,261	1.70
中央三井信託銀行株式会社	3,156	1.65
朝日生命保険相互会社	3,111	1.63

(注) 持株比率は、自己株式 (892,986株) を控除して計算し、小数点第3位以下を切り捨てて表示しております。

所有者別株式分布状況



※パーセンテージは持株比率 (自己株式を控除して計算し、小数点第3位以下を切り捨てて表示しております。)

役員

地位	氏名	担当又は主な兼職の状況
代表取締役会長	林 有 厚	
代表取締役社長 執行役員	久 代 信 次	
代表取締役副社長 執行役員	朝 井 正 昭	経営本部長兼広報IR室担当
専務取締役 執行役員	北 田 英 一	営業本部長兼東京ドーム・プロパーティ管理担当兼ラクーア担当
常務取締役 執行役員	本 田 顯 治	営業本副本部長兼宣伝広告・営業推進担当兼興行企画・ホール・ミーツポート担当兼ジョブイン担当
常務取締役 執行役員	野 村 龍 介	管理本部長兼人事担当兼秘書室担当
取締役	秋 山 智 史	富国生命保険相互会社取締役会長
取締役	森 信 博	日本ハーデス株式会社代表取締役会長
取締役	井 上 義 久	朝日生命保険相互会社監査役
常勤監査役	栗 田 幹 雄	
常勤監査役	祝 田 雅 美	
監査役	堤 淳 一	弁護士
監査役	野 崎 幸 雄	弁護士
監査役	児 玉 幸 治	財団法人機械システム振興協会会長
常務執行役員	長 岡 勤	経営本部開発室担当兼開発室長
常務執行役員	谷 口 好 幸	審査法務担当兼審査法務部長
執行役員	田 中 雅 昭	管理本部総務部担当兼施設部担当兼総務部長
執行役員	山 田 幸 雄	営業本部業務・営業環境管理担当兼業務部長
執行役員	山 田 豊	経営本部グループ戦略室担当兼グループ戦略室長
執行役員	西 勝 昭	営業本部東京ドーム部長
執行役員	小田切 吉 隆	管理本部財務部担当兼財務部長
執行役員	萩 原 実	営業本部アミューズメント・ポウリング担当兼アミューズメント部長
執行役員	小野澤 紀 雄	営業本部飲食&物販担当兼飲食&物販部長

グループの主な営業所 (平成24年4月1日現在)

東京ドームシティ 〒112-8575 東京都文京区後楽1丁目3番61号
わくわくダイヤル (ご案内専用電話) 03-5800-9999
東京ドーム (全天候型多目的スタジアム)
東京ドームシティ アトラクションズ
ラクーア (天然温泉スパ、アトラクション、ショップ&レストラン、フィットネスクラブ)
ミーツポート (東京ドームシティホール、ショップ&レストラン)
青いビル
後楽園ホール、サウナ東京ドーム
黄色いビル
東京ドームポウリングセンター
ウインズ後楽園 (中央競馬)、オフト後楽園 (南関東4競馬)
プリズムホール (多目的イベントホール)
レストラン、ショップ 各店



ラクーア

テナントビル

松戸公産アドホック新宿ビル (東京都新宿区) 03-3354-2100
プチモールニッ木 (千葉県松戸市) 047-374-5511

ショップイン (化粧品・雑貨小売店)

東京23区エリア

赤羽アピレ店 03-3905-2050
東武北千住駅店 03-5284-1521
ルミネ北千住店 03-3879-1163
マルイシティ池袋店 03-5957-5960
池袋サンシャインシティ店 03-5979-8690
東京ドームシティラクーア店 03-3868-7066
ルミネ荻窪店 03-3393-5515
お茶の水サンクレール店 03-3293-9550
錦糸町テルミナ2店 03-3624-2130
新宿ミロード店 03-3349-5660
銀座インズ店 03-3562-9710
アトレ恵比寿店 03-5475-8393
ウイング高輪店 03-3473-6685

東京23区外エリア

国分寺エル店 042-327-1066
国立駅店 042-574-7585
町田モディ店 042-726-1180

関東エリア

ルミネ大宮店 048-631-0226
丸井柏VAT店 04-7163-8871
アトレ松戸店 047-364-7185
シャポー市川店 047-320-9280
東武百貨店船橋店 047-425-0700
溝の口ノクティプラザ店 044-814-7524

東京ドームホテルズ

東京ドームホテル (東京都文京区) 03-5805-2111
東京ドームホテル 札幌 (北海道札幌市) 011-261-0111
(旧称: 札幌後楽園ホテル)
熱海後楽園ホテル (静岡県熱海市) 0557-82-0121

東急百貨店たまプラーザ店 045-903-2156
アトレ川崎店 044-210-0181
ルミネ藤沢店 0466-55-1525
茅ヶ崎ラスカ店 0467-88-2888
横須賀モアーズシティ店 046-820-4451

東海中部エリア

名古屋スカイル店 052-264-6535

関西エリア

河原町オーパ店 075-255-8141
京都ザ・キューブ店 075-365-8628
川西モザイクボックス店 072-740-2544
京阪百貨店ひらかた店 072-861-3250
ららぽーと甲子園店 0798-81-6802
梅田エスト店 06-6292-5715
ディアモール大阪店 06-6348-4634
京橋京阪モール店 06-6356-3408
淀屋橋odona店 06-6221-2977
天満橋京阪シティモール店 06-4790-6201
心斎橋オーパ店 06-6258-3907
なんばマリイ店 06-7633-7932
天王寺ミオ店 06-6770-1172

中国エリア

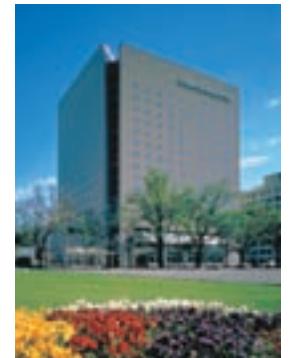
岡山一番街店 086-232-1060
広島アッゼ店 082-568-9077

ゴルフ

TERREY HILLS GOLF AND COUNTRY CLUB (SYDNEY, AUSTRALIA) +61-2-9450-0155

競輪場

松戸競輪場 (千葉県松戸市) 047-362-2181



東京ドームホテル 札幌 (旧称: 札幌後楽園ホテル)



松戸競輪場

株主メモ

証券コード 9681
 事業年度 2月1日から翌年1月31日まで
 定時株主総会 4月
 基準日 定時株主総会・期末配当・株主ご優待 1月31日
 中間配当 7月31日
 その他必要あるときは、予め公告して臨時に基準日を定めます。

株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関 (郵便物送付先)
 東京都千代田区丸の内1丁目4番1号
 三井住友信託銀行株式会社
 〒168-0063 東京都杉並区和泉2丁目8番4号
 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
 (電話照会先) 0120-782-031 (フリーダイヤル)
 (ホームページアドレス) <http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>
 取次事務は三井住友信託銀行株式会社の本店および全国各支店で行っております。

公告の方法 電子公告により行います。
 ただし、事故その他やむをえない事由によって電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載する方法により行います。

- ・住所変更、単元未満株式の買取・買増のお申出先について
 株主様の口座のある証券会社にお申出ください。なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。
- ・未払配当金の支払について
 株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

株主ご優待基準・ご優待の内容 (平成24年4月1日現在)

ご優待の内容	ご所有株式数					
	1,000株以上	3,000株以上	4,000株以上	10,000株以上	30,000株以上	60,000株以上
① 野球株主証	—	—	巨人戦立ち見・日本ハム戦外野席1枚	巨人戦立ち見・日本ハム戦外野席1枚	巨人戦指定席C・日本ハム戦指定席1枚	巨人戦指定席A・B1枚 または指定席C2枚・日本ハム戦指定席1枚
② 東京ドームシティ アトラクションズ アトラクション (乗り物) 券	—	5回	5回	10回	20回	20回
③ スパ ラクーア入館券	—	2枚	2枚	4枚	10枚	10枚
④ 東京ドーム500円優待券	6枚	6枚	6枚	6枚	20枚	20枚
⑤ スパ ラクーア割引券	10枚	10枚	10枚	10枚	20枚	20枚
⑥ 東京ドームホテルズ 宿泊割引券	10枚	10枚	10枚	10枚	20枚	20枚
⑦ 東京ドームホテルズ 飲食割引券	10枚	10枚	10枚	10枚	20枚	20枚
⑧ 松戸競輪場株主証 (一般入場料1名様分無料)	1枚	1枚	1枚	1枚	1枚	1枚

トピックス

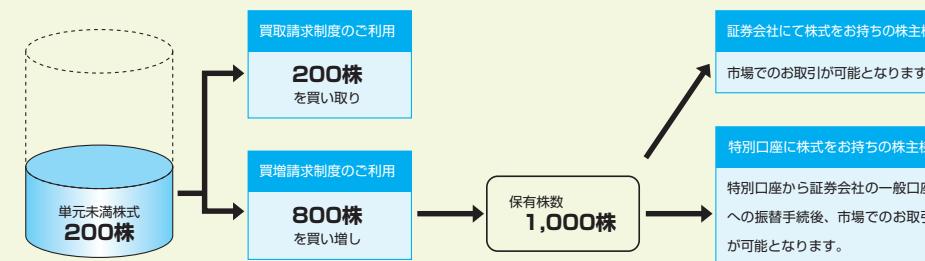
単元未満株式をご所有の株主様へのご案内

当社株式の証券市場での取引は1単元=1,000株となっているため、単元未満株式を市場で売買することはできません。そこで、単元未満株式をご所有の株主様におかれましては、「単元未満株式買取請求制度」または「単元未満株式買増請求制度」を選択してご利用いただけます。

1. 単元未満株式の買取・買増請求制度の概要

- ①単元未満株式買取請求制度とは…
 単元未満株式をご所有の株主様が、当社に対してその単元未満株式の買取をご請求いただける制度です。
- ②単元未満株式買増請求制度とは…
 単元未満株式をご所有の株主様が、その単元未満株式を単元株式にまとめるために、当社に対して単元株式に不足する数の株式の買増をご請求いただける制度です。

[200株をご所有の場合]



2. お手続きの方法

- ①証券会社の口座に記録されている単元未満株式
 お取引口座のある証券会社 (口座管理機関) にお問い合わせください。
- ②特別口座に記録されている単元未満株式
 特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行までお問い合わせください。
 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
 (フリーダイヤル) 0120-782-031
 〒168-0063
 東京都杉並区和泉2丁目8番4号

3. 手数料

単元未満株式が記録されている口座	当社に対する手数料	口座管理機関に対する手数料
証券会社の口座	無 料	お取引口座のある証券会社にお問い合わせください。
特別口座		無 料

特別口座にて株式をお持ちの株主様へのご案内

特別口座に記録された株式については、単元未満株式の買取請求・買増請求を除き、そのままでは株式を売買することはできません。

売買をするためには、証券会社等に一般口座を開設し、特別口座から株式を振り替えるお手続きが必要となります。特別口座から一般口座への振り替えにかかるお手続きにつきましては、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行までお問い合わせください。

東京ドームシティ アトラクションズに 2つの新アトラクションが登場!!

東京ドームシティ アトラクションズでは、2012年3月16日（金）に2つの新アトラクションが登場いたしました。

新アトラクションは、バイキング型アトラクション「スーパーバイキング ソラブネ」、カート型アトラクション「フリフリグランプリ」の2機種となっております。

東京ドームシティ アトラクションズにご来場いただき是非お楽しみください。

◆スーパーバイキング ソラブネ

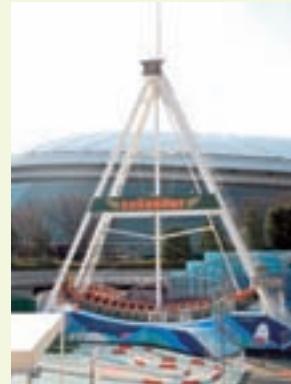
80人乗りの巨大な海賊船がダイナミックにスイングします。客席は最高約15mの高さまで上昇し急落下し、まるで大空に舞い上がるかのような空中航海が体験できます。

◎料 金：600円

◎乗車定員：80人

◎所要時間：約1分30秒

◎乗車規定：110cm以上。120cmまで要付添



スーパーバイキング ソラブネ

◆フリフリグランプリ

時速約3km/hで走行するドリフトカーを運転し、ゴール時の得点を競います。走行タイムは得点に影響せず、コース上にあるコインの上を通過すると加点、コース両サイドのガードレールに当たると減点され、ドライビングテクニックが必要な「ギリギリスラローム」や「ツルツルバンク」などの難関をクリアし、高得点を目指します。

◎料 金：500円

◎乗車定員：2人

◎所要時間：1分30秒～2分

◎乗車規定：3才以上。6才まで要付添



フリフリグランプリ

お客様からのお問い合わせ先：東京ドームシティ アトラクションズ TEL：03-3817-6001

東京ドームシティに本格屋内ローラースケートリンクが登場！ 「東京ドーム ローラースケートアリーナ」営業中！

東京ドームシティでは2011年12月22日（木）に屋内ローラースケート施設「東京ドーム ローラースケートアリーナ」を黄色いビル4Fにオープンいたしました。

「東京ドーム ローラースケートアリーナ」は、1周約100mのメインリンクを中心にローラースケート、インラインスケートを対象とした設備を揃え、初心者から上級者まで男性・女性を問わずあらゆる年齢のお客様にお楽しみいただける都内最大の屋内ローラースケートリンクです。

「東京ドーム ローラースケートアリーナ」の概要は以下の通りです。

◎名 称：東京ドーム ローラースケートアリーナ

◎営業時間：平 日 12：00～22：00

土曜日 11：00～22：00

日曜日・祝日 10：00～20：00

◎場 所：黄色いビル4F

◎入場料（2時間）：

区 分	平 日	土日祝
一般	1,200円	1,500円
学生	1,000円	1,200円
子供（3才～小学生）	800円	1,000円

※滑走の有無にかかわらず入場料が必要 ※延長料金あり（30分毎300円）※会員制度・貸しリンク営業あり

◎貸 靴 料：500円（16cm～30cm）※持ち込み可

◎施設面積：約1,600㎡

◎施設紹介：ローラースケート、インラインスケートによる滑走が可能な40m×24mのフラットな楕円周回リンクを備えたメインアリーナのほか、DJブース、ミニランプエリア（初心者及びキッズ専用スケートボードハーフパイプ）、ダンススペースなども設置し、充実した照明・音響設備による光と音の演出もお楽しみいただけます。



お客様からのお問い合わせ先：東京ドーム ローラースケートアリーナ TEL：03-3817-6196



株式会社 **東京ドーム**

〒112-8575 東京都文京区後楽1丁目3番61号

TEL 03 (3811) 2111 (代表)

東京ドーム 企業情報サイト <http://www.tokyo-dome.jp>